

9月14日 台町（台町会館にて）

〈主なやり取りと対応状況〉

* 対応状況は⇒です。

【町役場の建替えについて】

- 新庁舎整備時の駐車場は。
⇒ 大磯港駐車場に停めていただく方向で現在検討しています。
- 新庁舎に二宮町のラディアンのような小規模な集まりができるスペースを設けてはいかがか。
⇒ 新庁舎1階に町民の方々が集まれるスペースを作を考えています。
- 新庁舎整備については、令和5年3月に策定した基本計画から短い期間でガラッと変わった印象を受ける。議場をフラットにしコンサートにも使えるという話もあったようだが。
⇒ 新庁舎の基本的な構造は変わってはいません。議場を多目的に使うことについても、町議会にお話をしているところです。
- 夏の暑さが変わってきた。新庁舎はエコな庁舎にしてほしい。ZEB実施の100%を目指し、CO₂を削減するという考え方に変化はないか。
⇒ 変わっていません。
- 海に近い役場は錆に弱い。木造庁舎を建ててほしい。現在の木造建築は耐震強度も確保され、津波の心配もあるので1階はコンクリート造で、2～4階はハイブリットで木造にしてほしい。
⇒ 今後の事業者からの提案に期待をしているところです。一方で、基本計画に位置付けのない事柄は、反映しにくいと考えています。
- 木造は人にやさしいが、塩には弱い。理想だけでものを語るのは危険である。「より害が少ないのは何か？」で工法を選ぶべきである。
⇒ 建物の構造的な部分は、プロである設計業者からご提案いただけることを期待しています。
- 新庁舎整備の町民説明会の議事録に私の発言が載っていなかった。4階建てでは自分の家から伊豆大島が見えなくなる。
⇒ 説明会でのご発言は紙面の都合で割愛させていただいたようです。伊豆大島については今の立地条件では難しい課題だと思います。
- あの場所に建て替えるのは考えが無い。工夫がないと思う。

⇒ 町長就任後に庁舎移転を検討するため現庁舎の耐震補強に向けた補正予算を町議会にご提案しましたが否決され、現庁舎敷地内での早期建設を求める決議があったことから、現地での建替えを進めていくことが私のミッションと判断しました。

○ 新庁舎整備について、当初計画時に 41 億円借金すると考えたことが信じられない。まだまだ消防庁舎など予算の使用先はあるので華美なものは不要であるが、節約しつつも本当に良いものを作ってほしい。

⇒ 津波対応を施したことにより地方交付税が措置されるよう工夫し、町の負担分を縮減しました。今後の公共施設整備事業にもこのような工夫を講じてまいります。

【町内の課題など】

○ 通いの場については、複数の団体と集まって話し合ったが「何かあったとき」の責任問題が課題となり後ろ向きになった。

⇒ 事故発生時などの責任の所在については、町役場からアドバイスさせていただきますのでご相談ください。

○ 御嶽神社前の町道沿いのブロック塀が崩れかかって危険である。

⇒ 特定空き家として対策を取りました。

○ 国道 1 号に木陰がない。かつては役場前からもポプラ並木もあったが電線地中化工事により撤去され復元されなかった。

⇒ 当時の町役場が国と話し合って進めた事業ですから、今の状況を変えるのは難しいです。

○ 自営業でお客様用駐車場を増やしたいと思っていたが、完成する前とそのあとに法律が変わって増やせなくなった。事前相談時には何も案内が無かった。

⇒ 関係する法律を調べましたが、近年は駐車場に関する法改正は無かったようです。

○ 山を切り崩して宅地分譲をしている。能登の地震を受けて軟弱地盤への心配がある。行政として専門家などを呼び、何ができるか検討し、自治体自体が法律を先導するくらいの姿勢で臨まないといけない。

⇒ 現在、急傾斜地域の法律などが新たにできて、個人所有地にも行政の権限が及ぶようになっています。台風第 10 号の被害も発生していることからご意見を大切にしていきます。

以上